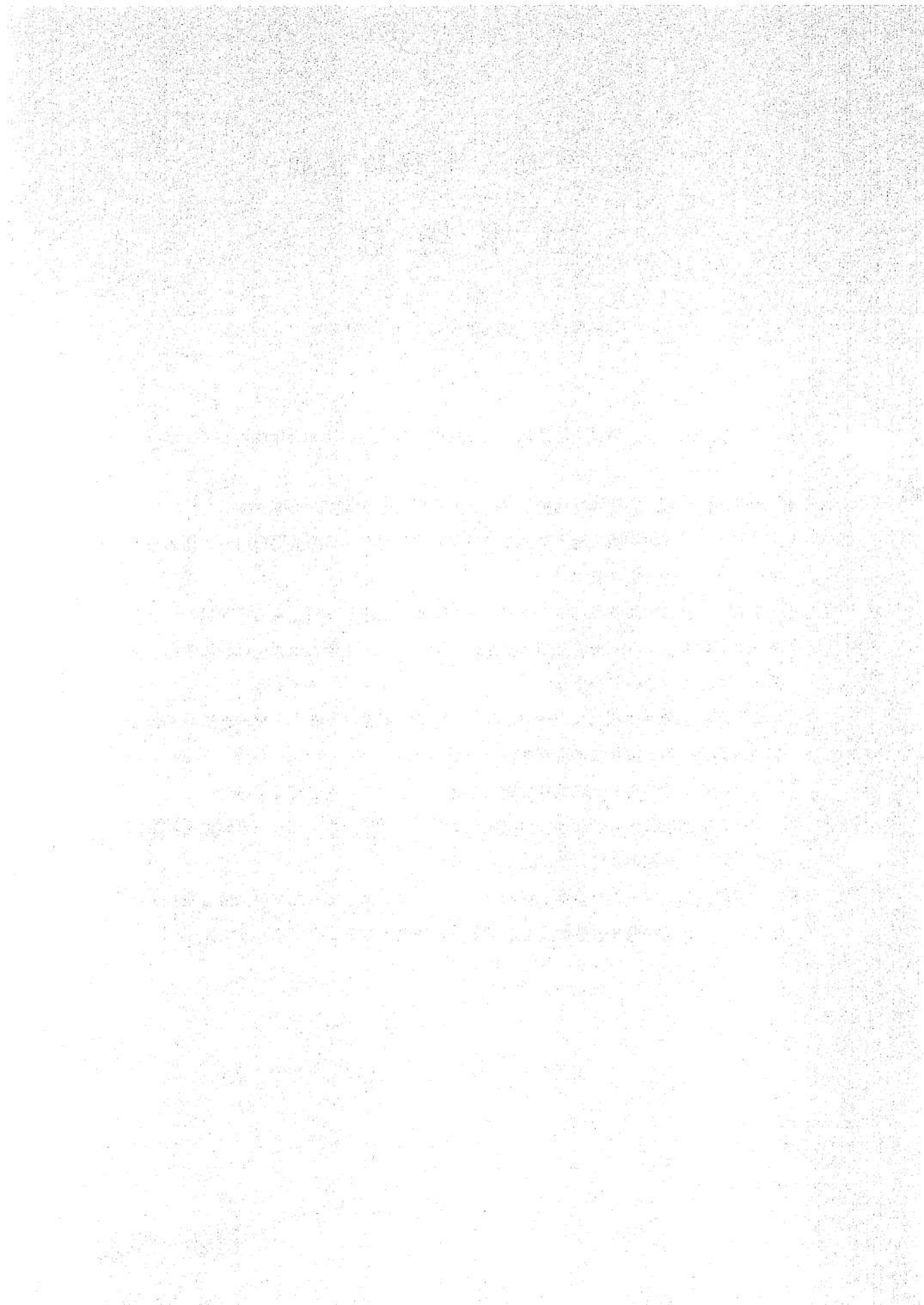


2019 年度 入学 試験 問題

日本史 B

(試験時間 10:30~11:30 60分)

1. この問題冊子が、出願時に選択した科目のものであることを確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙には、記述解答用紙とマーク解答用紙の2種類があります。
3. 解答は、必ず解答欄に記入およびマークしてください。解答欄以外への記入およびマークは無効となります。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。特に、マーク解答用紙には鉛筆のあとや消しくずを残さないでください。
5. 解答用紙を折り曲げたり、汚したりしないでください。また、マーク解答用紙を記述解答用紙の下敷きに使用しないでください。
6. 解答用紙には、必ず受験番号と氏名を記入およびマークしてください。
7. マーク解答用紙への受験番号の記入およびマークは、コンピュータ処理上非常に重要なので、誤記のないようにしてください。
8. 一度記入したマークを修正する場合、しっかりと消してください。消し残しがあると、マーク読み取り装置が反応して解答が無効となることがあります。



I 次の文章を読み、下記の設問に答えなさい。問1、問9は記述解答用紙に答えなさい。問2～問8、問10～問12はマーク解答用紙にマークしなさい。(36点)

A 1185年、源頼朝は軍勢を京都に送って後白河法皇にせまり、守護や地頭を任命する権利、1段あたり5升の を徴収する権利などを得た。その後、頼朝は、1192年に征夷大將軍に任ぜられた。

鎌倉幕府の支配機構として、中央に侍所、政所、問注所^①が置かれる一方、諸国には守護と地頭、京都、九州、奥州に御家人統率などを目的とした統治機関が置かれた。しかし、鎌倉幕府の成立当初は、朝廷や貴族・大寺社を中心とする荘園領主の力もまだ強く、政治の面でも経済の面でも幕府の一元的な支配とはいえなかった。^②

頼朝の死後、頼朝の妻北条政子の父北条時政が將軍の源 を廃し、源実朝を3代將軍にたてて幕府の実権を握った。この時政の地位は執権と呼ばれ、時政の子義時、義時の子泰時がその地位を継承し、執権は北条氏一族のあいだで世襲されるようになった。^③

泰時は、執権を補佐する役職(連署)をおき、叔父の北条時房をその地位にすえた。ついで有力御家人などを に選んで、執権・連署とともに幕府の政務の処理や裁判にあたらせ、合議制にもとづいて政治を行った。その後、5代執権時頼は、新たに引付を置くなどして裁判機構の強化をはかった。^④

B 鎌倉幕府滅亡後、 天皇を廃した後醍醐天皇は、天皇親政のもとでの政治を始めた。そして、天皇への権限集中をはかりながらも、中央・地方に新たな統治機関を設けるなどした。^⑤具体的には、中央に、記録所、雑訴決断所、武者所、恩賞方などを設置し、諸国には、国司と守護を併置し、さらに、東北・関東地方には陸奥將軍府、鎌倉將軍府を設置した。しかし、天皇中心の政策は、多くの武士の不満と抵抗を引き起こした。^⑥

C 1336年、足利尊氏が光明天皇を立てたことなどにより、南北朝の動乱がはじまった。尊氏の孫義満は、1392年に南北両朝を合体させ、朝廷が保持していた諸権限を幕府の管轄下におくなどして、室町幕府の確立につとめた。

京都には幕府の職として管領がおかれた。管領は將軍を補佐するとともに、侍所、政所など中央諸機関を統轄するなどした。他方、幕府の地方機関には、鎌倉府（関東府）、九州探題、奥州探題、さらに奥州探題から分立した 5 などがあつた。

問1 文中の空欄 1 ~ 5 に入るもっとも適切な語・人名を漢字で答えなさい。

問2 下線部①に関する次の説明のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 侍所は、御家人の統率だけでなく、軍事・警察権も統轄した。
- b 政所は、一般政務や財政事務をつかさどつた。
- c 問注所の執事となつた三善康信は東国の御家人出身であつた。

問3 下線部②に関して、源頼朝が置いた統治機関の場所と名称の組み合わせとして正しいものを1つ選び、その記号をマークしなさい。

- | | | |
|------------|---------|----------|
| a 京都—六波羅探題 | 九州—鎮西奉行 | 奥州—奥州総奉行 |
| b 京都—六波羅探題 | 九州—鎮西探題 | 奥州—奥州探題 |
| c 京都—京都守護 | 九州—鎮西奉行 | 奥州—奥州総奉行 |
| d 京都—京都守護 | 九州—鎮西探題 | 奥州—奥州探題 |

問4 下線部③に関する次の説明のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 幕府の経済的基盤の1つは、朝廷から頼朝に与えられた関東知行国であつた。
- b 幕府は国司を任命して全国の一般行政を統轄した。
- c 朝廷では、依然として院政という政治形態が続いてゐた。

問5 下線部④に関する次の説明のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 執権北条義時に対する追討命令が出され、承久の乱が起きた。
- b 執権北条泰時の下、摂関家出身者が将軍に就任した。
- c 執権北条泰時は、和田合戦において和田義盛を滅ぼした。

問6 下線部⑤に関する次の説明のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 引付が設置された理由の1つは、裁判の迅速化を図るためであった。
- b 引付が扱う訴訟には、御家人たちの所領に関する訴訟が含まれた。
- c 問注所で審理が尽くされると、その後、引付会議において判決が出された。

問7 下線部⑥に関する次の説明のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 後醍醐天皇は、1324年、鎌倉幕府の討伐に失敗し、翌年、隠岐に流された。
- b 後醍醐天皇は、幕府・院政は否定したが、摂政・関白は否定しなかった。
- c 「此比都ニハヤル物。夜討、強盜、謀綸旨。召人、早馬、虚騒動。」は、後醍醐天皇の親政による混乱を表したとされる二条河原落書の一節である。

問8 下線部⑦に関する次の説明のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 武者所は、京都の警備を行った。
- b 雑訴決断所は、鎌倉幕府の引付を受け継いだものであった。
- c 陸奥将軍府には、皇子が遣わされなかった。

問9 下線部⑧に関して、「多くの武士の不満と抵抗」の原因になったと考えられることを3つあげ、50字～80字（句読点を含む）で説明しなさい。なお、3つの原因はそれぞれ「恩賞」、「土地所有」、「大内裏」という言葉を用いて解答すること。

問10 下線部⑨に関する次の説明のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 足利義満は、有力守護土岐氏などの勢力削減につとめた。
- b 幕府は、京都で高利貸を営む土倉や酒屋などに課税したが、同じく金融活動を行っていた京都五山の僧侶には課税をしなかった。
- c 朝廷から幕府の管轄下に置かれた京都の市政権には、京都の警察権、民事裁判権が含まれていた。

問11 下線部⑩に関する次の説明のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 管領は足利氏一門の畠山・斯波・仁木の3氏が交代で任命され、諸国の守護に対する将軍の命令を伝達した。
- b 侍所は京都の警備・刑事裁判をつかさどり、その長官は所司と呼ばれた。
- c 幕府は奉公衆と呼ばれる直轄軍を編成し、諸国の御料所の管理をゆだねた。

問12 下線部⑪に関する次の説明のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 鎌倉公方は、関東管領を補佐するためにおかれた。
- b 鎌倉には足利義詮が遣わされ、その後、義詮の子孫が鎌倉公方を世襲した。
- c 鎌倉府は、組織や権限が大きかったため、京都の幕府としばしば衝突した。

Ⅱ 次の文章を読み、下記の設問に答えなさい。問1は記述解答用紙に答えなさい。問2～問8は、マーク解答用紙にマークしなさい。(24点)

江戸時代には、幕府の積極的な街道・宿駅整備や、参勤交代による大名の往復、商品流通の発展などにより交通が盛んになった。

陸上交通では、東海道、中山道、甲州道中、、奥州道中の五街道とそれにつぐ山陽道、山陰道、北国街道などのが整備された。主要街道に設けられた宿駅には継飛脚などのための施設である問屋場がおかれた。

陸上での物資輸送にはさまざまな制約があったのに対し、水上での輸送は大量の物資を安価に運べる利点があったため、各種の水上交通が発達した。まず、17世紀の初めから内水面の河川舟運が整備された。京都の豪商は、鴨川・富士川を整備し、また高瀬川などを開削して水路を開いた。海上交通では江戸－大坂間で菱垣廻船・樽廻船が就航した。17世紀後半には、江戸の商人河村瑞賢が東廻り航路・西廻り航路を整備した。

江戸時代では、三都に蔵物・納屋物が大量に集まった。流通の担い手としての商人たちは問屋・仲買・小売りに分化した。問屋・仲買の中には同業者の団体である・組合をつくって営業独占をはかる者も現れた。幕府は最初、糸割符商人・質屋などの特定の業種を除きを認めていなかったが、17世紀後半には商品の供給や品質の管理のためにそれを黙認するようになった。江戸－大坂間の商品の安全な輸送や取引の円滑化をはかるため、17世紀末に結成された大坂の、江戸の十組問屋は、その代表的なものである。また、生産地と三都などの問屋・仲買との売買の場である卸売市場が三都や城下町に発達し、都市と農村を結ぶ経済の心臓部としての役割を果たした。

問1 文中の空欄～に入るもっとも適切な語・人名を漢字で答えなさい。

問2 下線部①に関する次の説明のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 在府（江戸）1年・在国1年を原則とし、常時、大名の半数が江戸に滞在するようにした。
- b 大名の妻子は江戸に住むことを強制された。
- c 武家諸法度（寛永令）は、大名の従者の数を少なくするよう求めた。

問3 下線部②に関して、次の街道名と関所の組み合わせの中から、誤っているものを1つ選び、その記号をマークしなさい。

- a 東海道一箱根
- b 中山道一木曾福島
- c 甲州道中一小仏
- d 奥州道中一新居（今切）

問4 下線部③に関する次の説明のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 継飛脚は後に諸大名の書状や荷物も対象とした。
- b 継飛脚に使用される人馬は、宿駅の町人・百姓や近隣の百姓から徴発され、これを伝馬役と呼んだ。
- c 問屋、年寄、帳付などの宿役人が継飛脚にあたった。

問5 下線部④に関する次の説明のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 菱垣廻船が17世紀前半に運航を始め、樽廻船は18世紀前半から運航をした。
- b 菱垣廻船や樽廻船が江戸から大坂に運んだ荷物は下り荷・下り物と呼ばれた。
- c 樽廻船は、元々は酒荷の運送を専門としたが、のちに酒以外の荷物ものせるようになり、菱垣廻船との間でしばしば紛争が生じた。

問6 下線部⑤に関する次の説明のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 東北地方の幕府直轄領の年貢米を江戸に運ぶことを目的に整備された。
- b 江戸と大坂を中心とする全国規模の海上交通網がととのった。
- c 東廻り航路では、後に北前船が活躍した。

問7 下線部⑥に関する次の説明のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 蔵物は諸藩の領内の年貢米のことであり、納屋物は領内の特産物のことである。
- b 大坂には、蔵物を販売するために、西日本や日本海側の諸藩を中心として、蔵屋敷がおかれた。
- c 蔵物は、蔵元・掛屋と呼ばれる商人を通じて販売された。

問8 下線部⑦に関して、次の地名と市場の種類の組み合わせのうち、誤っているものを1つ選び、その記号をマークしなさい。

- a 大坂・雑喉場一魚市場
- b 大坂・天満一青物市場
- c 江戸・日本橋一米市場
- d 江戸・神田一青物市場

Ⅲ 次の文章を読み、下記の設問に答えなさい。問1は記述解答用紙に答えなさい。問2～問11はマーク解答用紙にマークしなさい。(40点)

大政奉還を経て成立した新政府は、1868年閏4月に、を制定して国家権力をと呼ぶ中央政府に集めるなど政府組織の整備をすすめたが、地方については、府・藩・県をおくことで当面の制度とした。統一政治を行うには、残された諸藩も徐々に直接統治に組み込む必要があり、新政府首脳は、・などの4藩主にすすめ、1869年1月、版籍奉還を上表させた。その後、版籍奉還は全国的に実施されたが、旧藩主は、そのまま旧領地の知藩事に任命された。

その後の情勢をふまえて、政府は、強力な中央集権体制を確立するために廃藩を決意し、1871年、まず・などの藩から御親兵をつのって軍事力を固めたうえで、7月、一挙に廃藩置県を断行し、全国の藩を廃止して府・県とした。これにより、知藩事は罷免され、中央政府が任命する府知事・が、地方行政にあたることとなった。1875年には、地方の民情を政治に反映させるため、府知事・からなるが設置された。

徴兵令公布・征韓論争のころから士族の反乱・農民一揆が頻発したが、1877年に行われた農民に対する負担軽減策により農民の不満は緩和され、士族の反乱も、同年の西南戦争における士族側敗北をもって終わった。政府は地方統治制度の整備をはかるため、1878年に府県会規則・地方税規則などのいわゆる地方三新法を制定した。この改革により、府会・県会を通してある程度の民意を組み入れられる地方制度となった。この新法の制定の目的には、自由民権運動の担い手となりつつあった豪農らが要求する府会・県会と戸長のを決定して、豪農らを運動から引きはなすことがあった。しかし、同年、出身者たちが結成した立志社を中心に、愛国社の再興大会が開かれると、運動はあっという間に盛んになった。

この後、自由民権運動は、運動内部の対立や政府による弾圧・懐柔策に、政府の財政改革による深刻な不況が重なり、伸び悩みをみせる一方、一部では急進化するものも現れた。福島県では、1882年、三島通庸が、道路建設のために県会の反対を無視して県民を強制的に動員したため、自由党员を中心に多数の農民らが蜂起した。三島は、これを口実に、県会議長ら自由党员を根こそぎに検挙した。

これに群馬事件・秩父事件等の騒擾が続いた。こうした運動の急進化とそれに対する弾圧の繰り返しの中で、民権運動はしだいに衰退していった。

このように民権運動を強く牽制しつつも、政府は、うに際し公約した、1890年の国会開設と立憲制の確立に向けて国家機構の整備につとめ、1885年には2制を廃止して内閣制度を定めた。地方制度の整備では、い閣に属し7大臣であった8を中心に、1888年に市制・町村制、1890年に府県制・郡制が制定された。これは、政党を嫌う8が目指したドイツ流の地方自治制であった。これにより政府の強い統制のもとではあるが、地域の有力者を担い手とする地方自治制が制度的に確立した。

このような変遷を経てきた地方制度も、太平洋戦争後、大きく改革される。1947年には、地方自治法が制定され、都道府県知事・市町村長が直接選挙による5となり、地方行政や9に権力をふるってきた7省も廃止された。同年、9法も公布され、国家地方9のほかに、自治体9がおかれた。また、1948年には、10行政の地方分権と民主化をめざし、都道府県や市町村に5制の10委員会が設けられた。

問1 文中の空欄 1 ~ 10 に入るもっとも適切な語・氏名を漢字で答えなさい。

問2 下線部①に関する次の説明のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 府・県は、旧幕府領を接収して設置されたが、その統治は、有力諸藩に委ねられた。
- b 要地である東京・京都などには、府がおかれた。
- c この制度は、府藩県三治制と呼ばれる。

問3 下線部②に関する次の説明のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 4藩以外の全ての藩主も、自発的に版籍奉還を願い出て、これを許された。
- b 藩主（藩知事）家政と藩財政とを分離しないことについては、版籍奉還の前後で変更はなかった。
- c 徴税と軍事の両権が藩に属することについては、版籍奉還の前後で変更はなかった。

問4 文中の空欄 および に入る藩の名を、次のものから1つ選び、その記号をマークしなさい。

- a 越前 b 土佐 c 長州 d 肥前 e 薩摩

問5 下線部③の時期に起きた士族の反乱・農民一揆として、適切なものを次のものから3つ選び、その記号をマークしなさい。

- a 佐賀の乱 b 高田事件 c 日比谷焼打ち事件
- d 米騒動 e 伊勢暴動 f 血税一揆

問6 下線部④に関する次の説明のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a この改革により、旧来の郡・町・村が行政上の単位として廃止され、画一的な行政区画としての大区・小区が導入された。
- b この改革により、全国统一の制度として府会・県会が設置されたが、これ以前から、府会・県会が開かれていた地方もあった。
- c この改革は、政府顧問モッセの助言を得て行われた。

問7 下線部⑤に関する次の説明のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 政府は、この時期に、政治集会と政治結社を規制する保安条例を公布してこの運動の弾圧をはかった。
- b 政府の井上馨らは、資金をあっせんして板垣退助・後藤象二郎を洋行させ、運動の指導者を懐柔しようとした。
- c 自由党は、政府に懐柔されたとして立憲改進黨を攻撃したが、立憲改進黨は、自由党と三菱の関係を暴いて反撃した。

問8 下線部⑥に関する次の説明のうち、正しいものを1つ選んで、その記号をマークしなさい。

- a 政府は、財政改革において、徹底した歳出の緊縮により財政難を乗り切ろうとしたが、一方では増税は行わず、景気回復に努めた。
- b この財政改革のころ、日本と外国の金銀比価が大きく異なっていたため、多量の金貨が海外に流出した。これが正貨保有高の払底を招いていた。
- c 政府の財政改革により生じた米価の高騰は、定額金納の地租とあいまって、大地主に、大幅な収入増をもたらした。大地主がこの利益を利用して農地を買い占めたため、中農以下の農民は小作農に転落した。
- d 政府は、財政改革の一環として、民間の国立銀行から紙幣発行権を取りあげた。改革以前は、民間の国立銀行が不換銀行券を発行しており、これが、激しいインフレーションの一因となっていた。

問9 下線部⑦に関する次の説明のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 旧自由党左派の大井憲太郎は、朝鮮に渡ってその保守的政府を倒し、改革派政権を樹立する計画を立て、検挙された。
- b 自由党は解党を決議し、立憲改進黨も、大隈重信ら中心的指導者が離党して事実上の解党状態に陥った。
- c 政府は、この時期に、讒謗律・新聞紙条例を制定して、反政府世論を厳しく取り締まった。

問10 文中の空欄 に入る出来事として、適切なものを次のものから1つ選び、その記号をマークしなさい。

- a 明治六年の政変
- b 民撰議院設立建白書の提出
- c 大阪会議
- d 明治十四年の政変

問11 下線部⑧に関する次の説明のうち、正しいものを1つ選んで、その記号をマークしなさい。

- a 1890年の府県制により、直接選挙による府会・県会議員の選出が定められた。
- b 1890年の府県制は、北海道と沖縄には実施が見送られた。北海道会・沖縄県会の設置が実現するのは、20世紀になってからのことである。
- c 1888年の市制において、市長は、市会において互選することとされた。
- d 1888年の町村制により創設された新町村は、財政基盤が脆弱であったので、後の農山漁村経済更生運動において、旧村落の財産を新町村の基本財産に移行することが目指された。

C

C

